



棟梁  
堀江 佐吉



## 洋館



1. 旧弘前市立図書館（県重宝）
2. 旧第五十九銀行本店本館（重要文化財）
3. 旧弘前信託社（重要文化財）
4. 旧東奥義塾外人教師館（県重宝）
5. カトリック弘前教会（趣のある建物）  
堀江佐吉の弟である横山常吉の施工。

津軽藩のお抱え大工・堀江家の5代目として生まれた堀江佐吉は、函館で洋風建築の基礎を学んだといわれ、その卓越した技能で旧第五十九銀行本店本館、旧弘前市立図書館、旧弘前信託社など斬新かつ華麗な洋風建築を数多く手がけました。彼の精神や技能は、弟子達に引き継がれ、教会など多くの洋風建築として、弘前の街に彩りを添えています。



上. 弘前学院外人宣教師館（重要文化財）  
左. 日本基督教団弘前教会（県重宝）

クリスチャン棟梁  
桜庭 駒五郎

鍛冶職人の三男として生まれた桜庭駒五郎は、日本メソジスト教会初代監督となった本多庸一の教育思想に感化され、教団の社会事業の奉仕活動に積極的に取り組みました。また、熱心なクリスチャン棟梁としても知られ、日本基督教団弘前教会、弘前学院外人宣教師館のほか、日本各地に社会教育施設や宗教施設を遺しています。



## その他の洋風建築



左. 鏡ヶ丘記念館（県重宝） 中. 日本聖公会弘前昇天教会（県重宝）J・M・ガーディナー設計 右. 藤田家別邸洋館（登録有形文化財、趣のある建物）

## 弘前の建物と人物

## 洋館・近代・煉瓦

## 近代



建築家  
前川 國男

近代建築の巨匠ル・コルビュジエのもとで学んだ前川國男は、パリから帰国後、処女作といわれる「木村産業研究所」を手始めに、「弘前中央高校講堂」や「弘前市庁舎」など、数多くの公共建築を弘前で手がけました。

初期から晩年までの8つの作品が残る前川建築巡りは、日本の近代建築の歩みを辿ることにあります。

もともと大工であった福島藤助は、酒造りに適した弘前の土地柄と、文明開化という時代の流れに目をつけ、二十六歳で醸造業に転身しました。研究心旺盛な藤助は、季節に關係なくいつでも酒造りができる「四季醸造」という革命的な醸造法を考案し、近代的な設備も備えた煉瓦造りの工場をいくつも建設しました。これらの多くは現在でも当時の面影を残し、弘前銘醸や弘前れんが倉庫美術館などに引き継がれ、市民にも愛されています。



醸造家  
福島 藤助



弘前れんが倉庫美術館



弘前銘醸煉瓦倉庫（趣のある建物）



## 煉瓦